

2020年度

# 事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

学校法人 岐阜済美学院

## 目次

### I 法人の概要

- 1. 設置する学校・学部・学科等 ..... 2
- 2. 学院設置学校（園）の入学定員及び学生・生徒・園児の状況..... 2

### II 事業の概要

- 1. 中部学院大学・中部学院大学短期大学部の事業 ..... 6
- 2. 済美高等学校の事業 ..... 1 6
- 3. 中部学院大学短期大学部附属幼稚園の事業 ..... 2 2
- 4. 中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園の事業 ..... 2 4

# I 法人の概要

## 1. 設置する学校・学部・学科等

- \* 中部学院大学[1996（平 8）年 12 月設置] 関市桐ヶ丘、各務原市那加甥田町  
 大学院 人間福祉学研究科 人間福祉学専攻 [修士課程] [博士課程（後期）]  
 人間福祉学部 人間福祉学科  
 教育学部 子ども教育学科  
 看護リハビリテーション学部 理学療法学科・看護学科  
 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科  
 通信教育部 人間福祉学部 人間福祉学科  
 留学生別科
  
- \* 中部学院大学短期大学部[1967（昭和 42）年 1 月設置] 関市桐ヶ丘  
 幼児教育学科  
 社会福祉学科
  
- \* 済美高等学校[1918（大 7）年 9 月設置] 岐阜市正法寺町  
 普通科・商業科  
 保育科・衛生看護科
  
- \* 中部学院大学短期大学部附属幼稚園[1973（昭和 48）年 2 月設置] 岐阜市下土居
  
- \* 中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園[1979（昭和 54）年 12 月設置] 関市桐ヶ丘

## 2. 学院設置学校（園）の学生・生徒・園児数

2020.5.1 現在  
 (単位人)

### (1) 学校別総計

学 校 名	学生・生徒・園児数
中部学院大学大学院	15
中部学院大学	1,622
中部学院大学（通信教育部）	526
中部学院大学（留学生別科）	19
中部学院大学短期大学部	332
済美高等学校	804
中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属幼稚園	201
中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園	134
子ども家庭支援センター（桐が丘幼稚園分室）	6
計	3,659

(2) 各学校別学部・学科別学生・生徒・園児数

＜中部学院大学（学部・学年別）学生数＞

2020.05.1 現在(単位人)

学部・学科	入学員	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	計
人間福祉学研究科						
修士課程	5	1 ( 0)	1 ( 1)	-	-	2 ( 1)
博士課程	3	0 ( 0)	3 ( 1)	10 ( 3)	-	13 ( 4)
計	8	1 ( 0)	4 ( 2)	10 ( 3)	-	15 ( 5)
人間福祉学部						
人間福祉学科	100	118 ( 72)	105 ( 64)	100 ( 61)	88 ( 43)	411 (240)
教育学部						
子ども教育学科	80	85 ( 38)	80 ( 32)	70 (13)	55 (19)	290 (102)
看護リハビリテーション学部						
理学療法学科	60	74 ( 44)	78 ( 50)	63 ( 40)	43 ( 27)	258 (161)
看護学科	80	90 ( 16)	96 ( 20)	73 ( 11)	62 ( 7)	321 ( 54)
計	140	164 ( 60)	174 ( 70)	136 ( 51)	105 ( 34)	579 (215)
スポーツ健康科学部						
スポーツ健康科学科	80	93 ( 69)	83 ( 68)	88 ( 63)	78 ( 65)	342 (265)
合 計	408	461(239)	446(236)	404 (191)	326 (161)	1,637 (827)
通信教育部 (正科生)	100	23 ( 6)	38 ( 11)	104 ( 22)	361 (103)	526 (142)
留学生別科	30	19 ( 7)				19 ( 7)
総 計	538	503 (252)	484 (247)	508 (213)	687 (264)	2,182 (976)

注 ( ) 内は、男子数で内数

人間福祉学科3年次編入定員15人・子ども教育学科3年次編入定員10人

2014年4月よりリハビリテーション学部を看護リハビリテーション学部に変更

2015年4月より子ども学部子ども学科を教育学部子ども教育学科に変更

2017年4月よりスポーツ健康科学部スポーツ健康学科開設

留学生(人間福祉学科47人)

< 中部学院大学短期大学部（学科・学年別）学生数 >

2020.05.1 現在(単位人)

学 科	入学定員	1 学年	2 学年	計
幼児教育学科	100	84 ( 0)	82 ( 1)	166 ( 1)
社会福祉学科	80	87 (17)	79 (14)	166 (31)
総 計	180	171 (17)	161 (15)	332 (32)

注 ( ) 内は、男子数で内数

幼児教育学科のうち、委託訓練生 26 人 (1 年生 12 人、2 年生 14 人) 含む

社会福祉学科のうち、委託訓練生 30 人 (1 年生 13 人、2 年生 17 人) 含む

留学生 幼児教育学科 1 人 (1 年生 1 人)

社会福祉学科 21 人 (1 年生 32 人、2 年生 23 人 )

< 済美高等学校（科・学年別）生徒数 >

2020.05.1 現在(単位人)

学 科	募集定員	1 学年	2 学年	3 学年	計
普通科	200	196(58) [6]	160(32) [5]	150(33) [5]	506(123) [16]
商業科	40	23(11) [1]	36(19) [1]	26(13) [1]	85(43) [3]
保育科	50	46(1) [2]	37 [1]	39(1) [1]	122(2) [4]
衛生看護科 (女子のみ)	40	25 [1]	31 [1]	35 [1]	91 [3]
計	330	290(70) [10]	264(51) [8]	250(47) [8]	804(168) [26]

注 ( ) 内は、男子数で内数

[ ] 内は、クラス数

< 中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属・幼稚園（年齢別）園児数 >

2020.05.1 現在(単位人)

	収容定員	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
附属幼稚園	200	0 [1]	65 [3]	68 [2]	68 [2]	201 [8]
桐が丘幼稚園	200	0 [1]	38 [2]	52 [2]	44 [2]	134 [7]
計	400	7 [2]	103 [5]	120 [4]	112 [4]	335 [15]

注 [ ] 内は、クラス数

< 子ども家庭支援センター（桐が丘幼稚園分室）幼児数 > (単位人)

	幼 児
ひよこ	6

< シティカレッジ関（延べ受講者数） >

	前 期	後 期	計
ビジネス系講座	17	23	40
福祉系講習	75	55	130
外国語講座	82	81	163
健康・スポーツ講座	109	134	243
教養・趣味等講座	94	117	211
わかくさプラザ開講講座	30	85	115
キッズ講座	71	75	146
計	478	570	1,048

< シティカレッジ各務原（延べ受講者数） >

	前 期	後 期	計
アインシュタインコース	60	153	213
ソクラテスコース	46	382	428
レオナルドダビンチコース	103	175	278
計	209	710	919

※アインシュタインコース：特別な分野に興味・関心を持つ中学生までのコース

ソクラテスコース：ゆっくりじっくりと自分独自の大学生活を味わうコース

レオナルドダビンチコース：道を究め専門的な技術や知識を高めるコース

## II 事業の概要

### 1. 中部学院大学・中部学院大学短期大学部の事業報告

#### 1. 教育方針

中部学院大学並びに中部学院大学短期大学部は、キリスト教福音主義のもと建学の精神を「神を畏れることは知識のはじめである」と定め、医療・教育・福祉・スポーツ健康の各領域に亘る現場経験の豊富な教授陣による教育と、こころ豊かな人間性を育む生活環境を整え、一人一人の学生に対して自分自身の進路を実現するために教職員一体となり指導を展開した。

#### 2. 2020年度事業報告（基本）

大学及び短期大学部では、引き続き両学長のリーダーシップの下、大学改革を推進した。

まず、大学経営会議においては、新たに策定した「第2期中期計画」（2020～2025年度）前期（2020～2022年度）のアクションプランに基づき施策を推進した。また、IR推進センターでは、引き続き客観的データに基づく分析と点検を通して、具体的な施策への反映を引き続き進めた。

次に、内部質保証の充実に向けた学内調査の刷新や教員の教育・研究等の活動を顕在化する取り組みを通し、施策を実施した。

このほか、福祉施設と連携した留学生受入れ事業や介護福祉士実務者研修制度等、本学の人的資源を生かした施策を実施した。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今年度においても各種行事、イベント等が中止、延期、縮小となるなど多大な影響を受けた。こうした中、昨年度中止となった卒業式については、感染防止対策や行事内容を縮小するなどコロナ対策を万全にすることにより、特に混乱もなく粛々と実施することができた。

#### <大学・短大>

- ・文科省「高大接続実行プラン」を踏まえた新入試制度を実行に移した。併せて一般入試及び大学入学共通テスト利用入試においてWEB出願システムを導入した。これらについて高等学校への周知に向け、入試ガイドや学生募集要項の改訂を行うとともに、インターネット出願ガイドブックの制作を行った。また、入学前教育についても入学前課題の見直しや入学前研修の導入について検討を重ね、段階的に充実を図った。
- ・高等教育の修学支援新制度（授業料無償化施策）について、関係部署と協同し、本学独自の奨学金や修学支援制度との調整を行うとともに、受験生、入学生及びその保護者に申請手続き及び活用方法等を周知し、経済的負担の軽減を図った。
- ・昨年度に引き続き、「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ1・3）や「私立大学経営強化集中支援事業」の各種補助金事業の採択を受けた。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により対面と ICT を活用したリモートを併用するハイブリッド型による授業を実施した。また、これらを支える通信環境の整備を行った。
- ・大学ではスポーツ健康科学部が学部完成年度を迎え、初めての卒業生を送り出した。またスポーツ科学科の卒業生全員が就職を決め、幸先の良いスタートを切った。
- ・通信教育部では社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正が 2021 年度から適用されることにより、それに合わせたカリキュラムの策定を行った。
- ・短期大学部では今年度も短期大学部卒業生全員が就職（幼児教育学科：19 年連続・社会福祉学科：18 年連続）を決めた。また社会福祉学科の医療事務コースでは初めての卒業生を送り出すとともに、同コースでは新たに歯科助手養成の新規カリキュラム（履修は 2021 年度後期から）を県内教育機関で初めて設けた。

### 3. 学部（学科）・事務局事業報告

全学的に推進する活動に加えて、各学部・学科においても教育・研究の充実・発展を図るために下記の取り組みを行った。

#### (1) 大学

##### (ア) 人間福祉学科

福祉専門職の養成を中心に、公務員や一般企業を希望する学生、留学生など多様な学生を受け入れ、学生の「なりたい自分」を支援した。第 1 に、学生育てでは、多様な学生を受け入れるため、学年主任・学年コーディネーター・ゼミ担当教員が協力し学生に向きあい学生の指導と退学者の減少に努めた。第 2 に、学生募集では、これまでに本学を志願した実績のある高校との連携を深め、高校の福祉担当教員との合同学習会の本学開催、高校から依頼のあった出前授業への対応、「高校生による認知症との出会い体験記」の WEB 募集と表彰、済美高校をはじめとする連携高校との共同事業を実施した。第 3 に、国家資格試験、公務員試験の合格率の向上では、対策講座、模擬試験、公務員養成プログラムに取り組んだ。公務員合格者は増加したが、国家試験合格率は全国平均より高いが期待する数値に達しなかった。第 4 に、地域連携では、学生による地域貢献事業に取り組むとともに、今年度 2 年目になる「現代福祉マネジメント」の授業を公開授業とし、学生と地域の企業者・市民が共に学ぶ場を設けた。

##### (イ) 子ども教育学科

教員養成への取り組みとして、基礎学力の向上に向けた基礎ゼミの内容を充実させるとともに面接や論述などにより教師としての考え方を確かなものにする科目「教師への道」を 2 学年から 4 学年まで行い内容の充実を図った。教職センターでは、「教員採用試験対策講座」、「教師

塾」、「外部専門講師による教員採用試験対策講座」を開催した。

また、保育者養成については、学びの森保育プランに位置づけた「保育実践講座」や「幼稚園教諭・保育士試験対策講座」等の充実を図り公務員保育職の養成に力を入れた。

コロナ禍におけるオンライン授業の充実のため、非常勤講師にも参加してもらい年3回のFD研修を行い、各教員のスキルを高めた。さらに、時代に応じた大学教員の実践力、指導力を高めるため、連携協定を締結している北陸学院大学との「保育・幼児教育分野での研究会」を昨年度より積み重ねている。また地域貢献として「小学校英語に関する教育フォーラム」を2回実施した。

2020年度の卒業生は55名（入学時59名、卒業率93.2%）で、幼稚園教諭1種免許52名、保育士34名、小学校教諭1種免許20名、社会福祉士受験資格6名を養成し、就職実績としては、就職希望者55名全員が就職を果たした。このうち、小学校正規教員3名、小学校（教員）講師8名、特別支援学校講師1名、幼稚園教諭1名、認定こども園保育教諭2名、保育士18（内公務員保育職10名）名、児童福祉関連施設職員8名が専門職として就職した。また、国家試験対策講座に力を入れた結果、受験者5名の内3名が社会福祉士試験に合格を果たした。さらに専修免許取得のために上越教育大学教職大学院へ進学する学生1名を排出した。

#### (ウ) 理学療法学科

一年次から検査・測定論、体表解剖学など専門科目を配置し、理学療法士への動機づけを行った。また専門科目や基礎演習、理学療法概論などで、人を対象とする医療人、社会人に相応しい接遇への関心を持つように指導した。前期が遠隔授業のみ、後期が遠隔授業と対面授業という授業形態の中、各科目において確実に単位取得が可能となるような遠隔授業に見合った資料を作成し配布するなどの配慮を行い、単位未修得者への負担軽減を図った。

学外での学びである臨床実習を充実するために、2年次の臨床実習に対する複数回の実習指導、3年次の臨床実習指導（前期・後期）と4年次の臨床実習指導（前期）を実施した。その中で3年次には前期、後期に渡りOSCE（客観的臨床能力試験）を導入し、臨床実習実施の円滑化を図った。OSCEについては、学内での実施を重ね、より充実した内容へと変化させた。学科FD研修も臨床実習教育をテーマに実施した。コロナ禍により学外による臨床実習の実施が不十分だったため、学内において実習不足分を補った。

臨床実習と国家試験対策を円滑に進めるため、2年次より定期的に「達成度試験」を実施し、知識の定着度を確認するとともに、その結果を速やかに各学生にフィードバックし、各自の弱点の改善に役立てた。4年次の国家試験対策では、コロナ禍により学生の登校日が限られる中、過

去問題を学内で加工した模擬テストにより、各学生の弱点の改善を図りつつ、これまでに蓄積したデータを基にして学生の指導を行った。今年度の理学療法士合格率は 86.5% (37 名受験、32 名合格) となり、全国平均 (79.0%) は上回ったものの 100% 達成とはならなかった。その原因を精査し次年度へ繋げたい。また、就職希望者の就職率は 100% であった。

#### (エ) 看護学科

第 110 回看護師国家試験合格率は、4 期生で 3 回目の 100% を達成した。全国平均 (新卒 95.4%) を上回った結果であった。第 107 回保健師国家試験合格率は 93.3% (15 名受験、14 名合格) で、全国平均 (新卒 97.4%) をやや下回った。基礎資格となる看護師教育を重視する中、保健師国家試験合格率の向上が課題である。

看護師・保健師国家試験対策の主な内容は、4 年間を通して段階的な国家試験ガイダンスの実施、2・3 年生には学習方法の徹底指導、4 年生では教員による国試対策補講を行い、専門領域の問題の解き方のポイントを指導した。低位成績学生には 12 月からグループ協同学習を計画し、全教員が巡回に参加し、相談に応え、励まし、学科全体の取り組みで後押しした。

コロナ禍による 4 年生の臨地実習は統合実習 2 単位がすべて学内実習となり、3 年生の臨地実習は約 6 割の時間数の臨地が可能であった。4 期生の就職率内定率は早々に 100% に達し、実習受け入れ施設への就職も達成できた。

学科の教育成果について、卒業時到達目標について満足度・達成度等の測定尺度を検討し、学生 (2020 年度卒業生) にアンケート調査を行った。ディプロマポリシーはほぼ達成でき、本学の教育特色の「キリスト教精神」「ボランティア活動」は、全学生の約 30% にそれぞれ記述があった。更なる特色を生かした学修環境を整備し、教育成果を向上させていきたい。

#### (オ) スポーツ健康科学科

開学部 4 年目の完成年度を迎えた。学生募集に関しては 4 年間すべて定員を越えての入学数であった。また、岐阜県や愛知県、その他の県からの出前授業の要望にも積極的に応じ、学部の広報に努めた。

教育面では、より専門性が高い知識や考え方等を学ぶべき体制を確立して学生の教育を行った。具体的には、教育実習のための事前教育、体育科教員就職対策として体育科教員特別演習を開講し、教員に必要な一般教養・教職教養等の充実を図る講義を行った。また就職活動に向けてのキャリア支援では、学生に対して早期に就職への意識を高揚させるために講習会や説明会を行った。職業人として、また社会人として身につけなければならない知識・技能などについての講演会を行った。その結果、卒業生全員が就職することができた。

昨年度までに、学部完成年度後のカリキュラムの全面的な見直しを行

った。来年度からはそのカリキュラムにより、柔軟性のある授業科目の選択が可能になり、また学習の方向性もより明確であるため、学習意欲の向上が図れるようになった。今後も多業種に渡る教職先で活躍できる人材の養成に努めていきたい。

## (2) 短期大学部

### (ア) 幼児教育学科

2021年度の入学者数については、学科定員100名に対して91名と、今年度入学生より8名増加となった。コロナ禍における進学の対象としての短大の価値が認められたこともあるが、2年間での教育内容の充実と可視化、他短大との違いを理解していただけた成果と考える。さらに学科独自資格に関心を示す受験生も見られ、今後の成果が受験生確保につながる要因の一つと思われる。離職者訓練制度の受験生も、本学科内での存在感が定着し、学生生活や学修の協働にリーダーシップを発揮している。

就職については、コロナ禍における学外実習の中止や従来の訪問型就職活動が困難な中、19年連続で就職率100%を達成した。これは、学生の意思を尊重した就職決定に軸を置き、Zoom面談など、新たな就職活動のノウハウを、学生、教職員一体で取り組んだ証と考えられる。

学生生活への支援として、2019年度入学生以来開催している入学前研修を、本年度入学生にも実施することができた(2021年3月16日)。コロナ禍でも安心して参加ができるよう計画を立て、Zoomによる参加を新設した結果、遠隔地の学生の参加も可能となり、参加数が増加した。さらにアンケート調査の結果からも入学への不安の減少が見られた。

次年度も、社会情勢や高校生の志向を踏まえ、入学定員の確保に向け教職員一体となって一層努力する。

### (イ) 社会福祉学科

学生募集活動では、学科定員80名に対して86人の入学者を確保し定員充足を果たした。内訳では、2020年度に美・デザイン、医療事務両コースで16名だった入学者が22名となり、特に「医療事務」を希望する学生が増加した。なお、医療事務コースでは、2020年度中に県歯科医師会、近隣歯科医師会と協議を重ね、2021年度から歯科助手資格取得養成校の認定を受け歯科助手養成を開始することとなった。介護福祉コースでは留学生36名の2021年度入学が決まり、定員確保に貢献している(但しコロナ等の影響で、うち8名が4月授業開始時点で未入国となっている)。留学生のほとんどは介護事業所の支援を受けており、学習と生活支援の両面で、事業所、国内日本語学校との連携強化に取り組んだ。

介護福祉士国家試験については、1年次からの体系的な学習計画とゼミ単位での個別支援を強化し、合格率86.6%を達成(日本人学生2年連続100%達成。留学生60.9%)したが、今後のさらなる対策強化と、国家試験不合格者への卒業後支援を検討している。就職については、就職を

希望する学生全員がこれを果たし、18年連続で就職率100%を達成した。

### (3) 事務局

事務局においても、上記の全学をあげての取り組みに真摯に取り組むとともに、学部・学科と連携して教育・研究等の向上に努めた。

#### (ア) 総務部

総務課は、校舎等建物、電気・機械・水道設備等について、学生の安全対策のため、また、本学のイメージアップのため、危険度、緊急度が高い箇所から改修等を実施した。改修工事等の主なものとしては、10号館外壁等改修工事、本館1階トイレ改修工事、冷温水発生機改修工事、研究棟空調機器入替工事などである。

また、新型コロナウイルス対策として、講義室、通路、トイレなど各所に、手指消毒用の「アルコール」、「ハンドソープ」、「ペーパータオル」等を配置するとともに、各事務室、図書館、食堂等に「飛沫防止パネル」を設置し、感染拡大防止に努めた。

教職員の健康管理では、全ての職員を対象に「健康診断」及び「ストレスチェック診断」を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努めることで、教職員の”こころ”と”からだ”の健康保持に努めた。

SD研修においては、昨年に引き続き新潟青陵短期大学及び北陸学院大学・短期大学との連携SDを継続して実施し、事務職員による意見交換・情報交換により相互の課題等に対する取り組みを確認した。

生涯学習課は、関市、各務原市などと連携し、地域住民のニーズに応えた幅広い分野のシティカレッジ講座や研修、市民セミナー、講演会を、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら開講した。また、介護福祉士実務者研修や教員免許状更新講習のほか、岐阜県から受託した介護人材確保・育成支援事業（介護事業所への研修講師派遣・在留外国人のための介護職員初任者研修）を実施し、「社会貢献・地域貢献」に努めた。

スポーツカレッジでは、コロナ禍で活動が制限される中、障がい者スポーツ教室をはじめとした各種スポーツ教室の開催、優れた競技能力を有する学生・教員の派遣、スポーツイベント（ソフトテニス大会）などを実施した。

#### (イ) 企画部

企画戦略課は、文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」「私立大学経営強化集中支援事業」等の各種補助金事業の採択に向けて、学内関係各所管の調整を行った。また、2020年度より施行された「高等教育の修学支援新制度（授業料無償化施策）」への対応について各学科、学内事務局各課との連絡調整を行った。IR推進センターにおいては、昨年度に引き続き客観的データに基づく分析と点検を通して、具体的な施策の反映に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症対策に関しては、総務部とともに学内の各種連絡調整を行った。

教育研究支援課は、前年度実施した証明書発行システムの入替及び新

発行機の設置、新学生ポータルシステム導入後の運用支援及び事務システムの更新に伴って、教職員への配付 PC の更新を図った。また、コロナウイルス感染症の影響によるキャンパス閉鎖に伴う遠隔授業、遠隔会議等や遠隔システム利用による各種講演会、研修会等の通信環境システム等の整備を図った。在学生に対する学修環境の変化にも対応すべく、通信環境の把握・整備、授業教育コンテンツの整備にも努めた。さらに、この機会を捉えて次年度（2021年度）新入生の内、まずは大学入学生から貸与 PC 事業を推進するための体制づくり及び貸与 PC の発注確保（440台）を実施し準備を推進した。

大学ホームページについては、現状のホームページを維持管理しながら、次年度からの新ホームページの立ち上げ準備を大学広報室と協力しながら推進した。教育研究支援については、全教員への教育研究活動への支援強化を図り、研究倫理に関する内部研修の機会を充実させた。同時に、引き続き外部資金（特に科学研究費助成事業等）の獲得及び研究助成情報の発信に努めた。さらに、全学部学科の FD 活動の活性化に対する支援を強化し、FD 研修内容の充実を図りその活動の定着を図った。また、大学間協定校関係では、大学は北陸学院大学と短大は新潟青陵大学短期大学部との研究交流を図った。

#### (ウ) 教務部

大学における感染拡大防止を最優先事項とし、前期はポータルを活用した「非常時の特別授業」として遠隔授業を行い、後期は、遠隔授業と対面授業を併用した授業日程とした。一部の学生に情報環境の課題があったが、中期計画「ICT を活用した教育の推進」の観点からは、多様なツールを用いた教育が行われ、学生、教員共に積極的な ICT 活用が図られた。実習教育においては、実習先との連携を図り、少しでも多くの学生を送り出す工夫をしたが、コロナの影響により国の指導に基づく「学内実習」に切り替えるケースが多々あった。以上のとおり、事業計画の達成は困難な状況であったが、デジタル化社会にふさわしいハイブリッド教育の推進に向けた切っ掛けを得ることができ、教育改革に向けた取組となった。2021年度に向けても、今年度と同様の授業日程を継続しつつ、新入生に対するパソコン貸与事業を実質化し、教育の質保証に取り組む予定である。

通信教育部事務課においても、面接授業は日程変更や放送授業への形態変更、三密対策の徹底をして対応した。科目修了試験は日程により会場受験を自宅受験に変更し対応した。また、実習は実習先や学生との連絡を密にし、実習先との連携を図り日程変更等によりすべての実習を終える等運営において最大限の感染予防に努めることで、学生個々の目標・目的に沿った学びの場を提供することができた。

#### (エ) 学生支援部

学生課は、コロナ禍においても学生一人一人が生き生きとした学生

生活を送り自立した社会人となれるよう課外活動、大学行事等への支援を進めた。また、学修上の様々な課題を抱える学生、障がいのある学生、経済的困難を抱える学生等に対して関係部署と情報の共有を図りながら組織的で迅速な学生支援をすすめた。

キャリア支援センター事務課は、全ての学生の健全で自立的な職業観の育成を図りながら、一人一人の学生に対応するきめ細かな就職支援を進めた。その結果、公務員試験において大学・短期大学部合わせて、6年連続30人以上が合格するとともに、大学は全学科平均で就職率99.0%、短期大学部幼児教育学科19年連続、社会福祉学科は18年連続の就職率100%を達成した。

また、課外・クラブ活動において今年度はコロナ禍の影響により、思うように活動ができないばかりか、全国や東海等の主要大会が中止となったが、学生たちはその苦境を見事に乗り越え多くの実績を残した。

硬式野球部は、秋季岐阜学生リーグで2季連続16度目の優勝を飾り、続く秋季東海選手権大会においても9度目の優勝を飾った。なお、その活躍を称えスポーツ健康科学部4年の福尾僚祐主将が日本学生野球協会表彰を受賞した。さらに、軟式野球部も秋季岐阜学生リーグで優勝した。一方、文化系部活動においても吹奏楽部のサクソ四重奏が予選を勝ち抜き、全日本アンサンブルコンテストに初出場を果たした。

#### (オ)入試広報部

コロナウイルスの蔓延に伴い、年間を通して多くの入試広報関連のオンライン研修を視聴するなど情報収集に努め、広報計画、とりわけ対面型の施策についてWEB施策への変更を迅速に対応した。具体的にはオンライン個別相談、オンライン入試ガイダンス、WEBオープンキャンパスサイト、高大連携メールシステムなどを実施した。また業者仲介の進学相談会にオンラインで参加するなど柔軟な対応を行った。学生募集においては、1年前倒しで一般入試及び大学入学共通テスト利用入試にWEB出願システムを導入し出願を促進した。

オープンキャンパスでは、高校3年生に限定して、日程を半日にして複数日を設定、あるいは個別相談会に変更するなどして実施した。また進路研究の機会がなかった高校1,2年生向けに10月、11月、12月に追加で開催した。

媒体広報においては自宅や本人に直接届くDM企画を活用してエリア別、分野別でのアプローチを行った。

2021年度入試(2022年4月入学)実施に向けて、現行の入試制度の見直しを行い、入試日程ならびに選抜方法を整備した。

#### (カ)大学広報室

定期的開催している運営会議で明らかになった諸々の課題や新規事業への取り組みを実行に移した。具体的には、大学広報と入試広報の一体的な取り組みとして、ホームページのリニューアルを行った。リニ

ューアルに伴い、既存の発行物や収集した情報などを基に、全学的な広報の分析を行ったほか、若手職員のワークショップ、学科へのヒアリングをおこなった。またインナーコミュニケーション促進のために「学内の掲示物等に関する要綱」を整備した。

#### (キ) 国際交流・地域連携部

国際交流・留学生支援課は、ハワイ大学機構カピオラニ・コミュニティカレッジの協力を得て、オンラインによる英語研修を実施した。また、2020年度72名の新入留学生の支援においては、学部・学科の教員と連携・協力し、留学生を支援する介護施設等の担当者との「連絡会」を定期的開催するなど、留学生の学習状況や生活支援について情報共有に努めた。さらに、イスラム教徒の礼拝室を設けるなど、出身国数の増加に対応した学内環境の整備を図った。

留学生別科は、国の入国制限により入国できない留学生に対してZoomによる遠隔授業を実施するなど、きめ細やかな支援と指導に取り組んだ。

地域・産学連携課は、本学の専門性を活かした地域貢献を目指し、9月には岐阜県と、10月には関市及び関市社会福祉協議会との間で、災害時における学生等ボランティア活動に関する協定を締結した。また、教育現場における実践的指導力の育成を目指し、11月には北方町と、12月には羽島市教育委員会と、3月には羽島郡二町教育委員会との間で、教育実習等に関する協定を締結した。「学生による地域貢献事業」や「ふれあいコラボワークショップ」などの助成事業においては、コロナ禍で様々な活動が制限される中、各学科において工夫を凝らした活動を進めた。また、オンラインを活用した「連携先との意見交換会」、「地域公開講座」、「三者連携オンライン講演会」を開催し、地（知）の拠点として地域への情報発信に努めた。岐阜県（健康福祉部）からの委託事業としては、「外国人介護人材受入環境整備事業」及び「外国人介護人材受入対策調査検討事業」を実施した。また、JICA 草の根技術協力事業（草の根パートナー型）としては、「ダナン市・グハンソン地区の地区病院を中心とする老年ケア・プログラム定着と人材育成事業」を、2018年度から引き続き遂行した。

#### (ク) 図書館事務課

2020年度の来館者はコロナ禍により例年の半分以下となった。このため大学に登校出来ない学生に向けての学修支援として、貸出図書や依頼文献の自宅送付を行った。また、4月より、医学映像教育センターの映像教材を利用できる、動画配信サービス『ビジュランクラウド』を導入した。医療系分野を中心に動画を視聴でき、学内・学外においても、パソコン・スマートフォンからも利用可能となり、遠隔授業・実習先においても視聴可能な映像教材として活用されている。例年行う図書館ガイダンスは、短縮して行い、利用案内はいつでも視聴できるように、案内動画を作成しHPに掲載し、好評を得た。

2021 年度の新学生 PC 貸与事業に向けて、3 月に両キャンパス図書館の閲覧席に電源タップの追加工事を行った。また関キャンパスにおいては、2 階フロア設置以来からのカーペットを張替えるとともに、閲覧席にアクリル衝立を設置するなど、明るく利用しやすい空間にレイアウト変更した。

関市立図書館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばしば休館や講座、イベントの中止の措置をとることとなった。未曾有の事態の時だからこそ、教養を高め、物事を深く考えるために本を読んでもらいたいという考えから、コロナ対応による臨時休館をできる限り減らし（11 日間）、市民に読書の機会を提供するよう努めた。また、全国の図書館が休館に追い込まれる中、当館の電子図書館が注目を浴び、県内外の図書館や報道関係者から数多くの問い合わせがあった。イベントや講座も可能な限り実施するよう努めた。中でも、市制 70 周年・合併 15 周年記念事業として講座『絵図・地図から読む関のまち』や事前のギャラリートークを実施したことは、当館の特色を県内のみならず全国に発信することができた。

## 2. 済美高等学校の事業

### 1. 教育方針

福音主義キリスト教に基づく学校教育を通して、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育てることを目指しています。そのため教職員は、生徒の安全と学力保証を第一に考え、危機管理意識を共有しつつ、教育目標を明確にして、その具現化に努め教育専門職としての矜持を持ち、常に自己研鑽に努め、生徒の学力保証と進路希望の実現に邁進しています。

### 2. 教育活動計画

#### 【普通科】

#### 1) 「選抜特進」「特進」

「選抜特進」「特進」の2つのコースでは、「学力をつけて、一般入試で四年制大学へ進学する」という方針を掲げ、進学指導のしくみの構築に専心しています。2020年度は、新しい大学入試に臨む年でしたが、共通テストの内容が大きく変更されたり、コロナウィルス感染症拡大防止の対応が要求されたりと、例年とは大きく異なる年となりました。しかし、この数年、校長先生の進路講話を生徒及び保護者向けに何度も実施して進学に対する意識を育てること、模擬試験を有効に活用して学習を継続すること、さらに平日17時35分まで、済美塾を開講するなど教科指導に力を入れてきたこともあり、今年3月の卒業生24人のうち8人が国公立大に合格しました。(昨年は30人中11人)国公立大合格数8の内訳は名古屋工業大1、岐阜大2、三重大1、静岡大1、豊橋技術科学大1、信州大1、富山県立大1です。私立大では、関西大3、立命館大1、南山大6、愛知大1、名城大14、中京大3、愛知学院大6と多くの生徒が合格し進学しています。

国公立大学は地元大学が主であり、多くの生徒において目指す進路実現ができたことは、大きな成果であり、本校の指導のレベルが上がったことを示しており、2021年度の高校入試では、このコースへの入学者が2.7倍へと増加しています。

#### 2) 「総合進学」「健康福祉」「生活文化」

普通科の「総合進学コース」においては、基礎学力を定着化し、国立大学や地元私立大学等への進学を目指し、また「健康福祉コース」においては、健康・福祉の基礎・基本を身につけ健康福祉系の大学進学や就職などを目指します。「生活文化コース」では、食物・ファッション等の基礎・基本を身につけ家政科系の大学進学や就職などを目指しました。

その結果、2020年度においては、中部学院大学をはじめ、岐阜県立看護大学、同志社大学、立命館大学など多くの難関大学に合格するなど着実に学力の向上を図ることができています。2020年度の主な進学先は以下の通りです。

総合進学コース…岐阜県立看護大学・同志社大学・立命館大学・名城大学・愛知学院大学・金城学院大学・愛知淑徳大学・名古屋外語大学・金沢工業大学

健康福祉コース…中部学院大学（短期大学部含む）・朝日大学・日本福祉大学

生活文化コース…中部学院大学（短期大学部含む）・大同大学・名古屋文理大学・岐阜女子大学

### 【保育科】

学科教育の特色を明確にし、幼児教育・保育系の大学・短大への進学が出来る学力を保証し、将来保育の専門職に従事できる基礎的な知識・技能等を習得することを目指しました。1年生ではキャリア教育の一環として保育体験学習を1日、2年生では保育実習を3日間実施し、将来、幼児教育、保育に関わる者としての態度を育てることを目指しました。その結果、保育技術検定1級に3年生36名、2級に39名（3年生3名、2年生36名）、3・4級に1年生46名が合格しました。また、進学においては、中部学院大学などの四大に13名（33%）、中部学院大学短期大学部などの短期大学に26名（67%）が合格しました。

### 【商業科】

新しい学科教育の特色を明確にし、経営・情報系の大学・短大への進学が出来る学力を保証し、将来商業の専門職に従事できる基礎的な知識・技能等を習得することを目指しました。

また、進化するICT社会に対応できる簿記やパソコン等、ビジネスに関する基礎的な知識と技術等を習得し、21世紀の社会・経済活動等に必要能力や資質などについても養うことを目指しました。

進路については、滋賀大の国立大学をはじめ、愛知大、愛知学院大等への合格を達成しています。簿記教育強化策の徹底により、全国商業簿記検定1級（簿記履修者）は、2年連続全員合格、日商簿記2級は2年生合格者4名、3年生4名を輩出することができました。さらに、資格取得による難関大学等への合格を目指し、放課後などの補習もほぼ全員が参加し、確実に学力が身につけていることが実感できるようになりました。

### 【衛生看護科】

看護に関する基礎的な知識・技術を習得し、准看護師試験受験資格を得るとともに、将来、看護師となるための資質・能力・態度や豊かな人間性の養成を目指しました。今年度も、9年連続で准看護師試験に全員合格しています。進学先として、四大へ7名、短大へ3名、高看へ24名進学しました。

### 3. 広報活動

#### 【入試広報】

中学生及びその保護者や中学校の教職員等に、高校生としての学力を保証すると同時に生徒の進路希望を確立し、それを確実に実現する本校教育の良さを理解していただき、本校への信頼を高めています。又、生徒や教職員の活動成果を適時適切に広報し、入学した生徒が着実に成長している姿を理解いただく中で的確に生徒を確保し、入学定員を充足するよう努めました。入試広報活動に対して全教職員の一致協力体制をより強固なものとするとともに、新たに7月から12月にかけて毎週日曜日に日曜相談会を実施、さらに選抜特進・特進コースの限定説明会を実施し、本校の学校教育の魅力と成果をPRしました。

なお、コロナ禍での活動となり、様々な活動が計画通りには進みませんでした。岐阜地区では87名減、県全体では455名減の中、志願者数1,248名(前年比164名増)、入学者数380名(前年比89名増)は、ともに増員という結果となっています。

### 4. 学校教育改革計画

#### 【宗 教】

計画的な指導を通して、本校生徒に相応しい豊かな心を育てるべく、求める生徒像を学年別に具体的に示しました。また、聖書・礼拝指導の内容の充実に努めました。

#### 【学校経営】

教職員が一致協力・連携し、教育専門職としての誇りを持ち、教科指導、生徒指導、部活動指導等に専念することにより、学校教育目標が達成できる「信頼される学校づくり」に努めました。

#### 【学業指導】

新型コロナウイルス感染症防止のための休校期間中に、県内でも早期にオンライン授業を実施するなど生徒の学力保証に努めました。

各教科・学科・コース内の連携を密にし、本校独自の学び直し指導の確立を図りました。また、生徒の実態に即した個に応じた指導の徹底を図り、学力保証と進路保証に努めました。さらに、授業の質・内容等の充実に図り、「大学入学共通テスト」に対応した学業指導体制の確立にも昨年度に引き続き努めました。

#### 【生徒指導】

全教職員の共通理解のもと、教科、特別活動、総合的な学習の時間、部活動の指導における生徒指導を徹底し、さわやかな挨拶の励行、端正な身嗜みの保持、交通安全マナーの遵守などの基本的な生活習慣の確立に努め

ました。

また、学校・学級への適応指導と教育相談を充実し、生徒相互の望ましい人間関係を確立し、生徒一人ひとりが学級の一員として目標を持って、遅刻や欠席及び早退の無い、積極的な学校生活を送れるよう指導に努めました。

加えて長期休業期間前には HR 活動において男女交際の在り方や性に関する指導、及びスマートフォン・タブレット等の情報機器の活用について計画的・組織的・効果的な指導に努めました。

### 【進路指導】

2020年度は岐阜大学(2名)・名古屋工業大学を筆頭に国公立大学への合格者数10名、四大合格者数214名でした。国公立型の選抜特進コースからだけでなく、商業科から3年連続、総合進学コースも2年連続で国公立大学合格者が生まれました。卒業生249名の進路内訳は、四大へ132名、短大へ49名、高専へ25名、各種専門学校へ24名、就職19名となりました。なお、中部学院大学へは37名、同短期大学部へは24名が進学しています。コロナ禍の中、オンライン授業を他校に先駆けての導入により、特に3年生における受験への影響を最小限に抑えることができました。進路指導部スローガンの『25歳の自分をイメージ』しつつ、『行けるところから、行きたいところへ』の指導が着実に実を進んでいることを証明する1年でありました。

### 【保健厚生】

生徒の保健・健康・安全指導を計画的に実施し、生徒の健やかな心身を育むと共に、毎日の清掃美化活動等を徹底し、美しい教育環境を実現することに努めました。

具体的には、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた生活様式の変化への指導・取り組みを実施しました。生徒・職員双方に対する災害への適切な対応が出来るような防災教育と共に、自他の生命を守るため、有事の災害に備えることができるような具体的な避難訓練の実施、関係機関等との協力、健全な保健・厚生に関わる教育活動などの実践を目指した学校安全衛生委員会、学校保健安全委員会を実施しました。

### 【図 書】

新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら、生徒の豊かな感性と人間性を育てることを目的とした図書の整備と読書活動の推進に努めた一年でした。例年実施してきた新入生向けオリエンテーションや「古本市」の開催は中止し、図書室の閲覧席を23席に減らすなど、苦渋の選択を強いられた面もありましたが、利用者の手洗い消毒を徹底し、例年どおり「読書感想文コンクール」の開催、「新刊案内」・「図書館だより」・図書委員会に

よる「らいぶらりい」の発行など、図書館活動を積極的に展開しました。図書の貸出し数は減少しましたが、そんな中でも、図書室で自習したり、毎日のように来館して読書に励んだりする生徒が途絶えることはありませんでした。また、テーマごとに毎月変わる特設コーナーは相変わらず好評でした。今後も、創意工夫を凝らした読書推進活動を展開していきます。

### 【特別活動】

キリスト教主義教育の基本の上に立ち、ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事・部活動などにおける「指導目標と計画」を明確にし、指導内容及び指導方法のさらなる改善に努めました。また、生徒会役員選挙やホームルーム活動では、主権者教育を念頭に置き、生徒の公民的な資質の育成や個性の伸長を図り、学校生活における存在感や学校への帰属意識を高めるように努めました。また、多くの学校行事が中止される中、生徒会メンバーが中心となり、キッチンカーを学校に招き、全校生徒に楽しい昼食の時間を提供することができました。

### 【渉外】

教職員と生徒・保護者・同窓生との連携を深めることを目的として、主に以下のような取り組みを行いました。コロナ禍に対応すべく、年度当初、迅速にメール配信システムへの登録率を高める取り組みを進めました。これにより、緊急連絡が瞬時に保護者、生徒に伝達される状況を確認。リモート授業に関する連絡等も全てメール配信システムによって行われ、県内トップクラスのスピードと内容でリモート授業を実施した一翼を担うこととなりました。コロナ禍における活動は以下の通りです。

#### ① P T A 総会書面開催

メール配信システムによる委任集計：委任 605 人 [69%]で総会成立

#### ② 校外研修、フォーラム、済美祭バザー、P T A 全国大会等中止

#### ③ 私立高等学校補助金増額請願署名

本校署名数：38,606 名分(目標 35,000 名分以上を達成)

#### ④ 岐阜県私立高等学校保護者連合会 幹事校としての取り組み

・私立高等学校補助金増額請願署名とりまとめ・議会提出

県全体署名数：414,593 名分(目標 40,000 名分以上を達成)

・第2回常任幹事会書面開催

・全国私学振興大会岐阜県代表参加等

### 【部活動】

今年度は空手道部、新体操部、ライフル射撃部、陸上部で全国大会に出場しました。特に空手道部は全国大会（個人の部）での優勝、射撃部においては、東アジアユースライフル射撃競技会へ出場するなど部活動全般にわたり活動内容も充実しています。運動部だけでなく文化系も毎年地域貢

献を果たすための活動を行い活躍しています。活躍の状況等については随時ホームページでお知らせしています。

#### 4. 環境整備状況

昨年度に引き続き、職場環境改善の一環として本館の全面的な改修を実施しました。また、昨今のコロナ禍により早急なICT教育環境整備の推進が求められており、そのため2ヶ年計画で全教室にプロジェクターとWi-fiルーターなどの設置を進めています。全ての教員と生徒に対し1人1タブレットを配布し、「授業」ではコンテンツ視聴やタブレットでの授業支援を、「情報配信」では校内ライブ放送や電子掲示板の機能強化（ミラーリングや双方向での送受信、資料等の一斉配信など）を図りICT教育の推進を図っています。

##### 1) 教育用機器備品等の整備

超短焦点壁掛け対応プロジェクターなど（17台）	6,192千円
iPadタブレット（520台、内500台は県全額補助）	642千円
多目的教室空調機器設置	700千円
生徒用机・イス など	1,105千円

##### 2) 施設の修繕・整備

本館屋上雨漏り、渡り廊下、外壁等改修工事	29,997千円
北舎屋上西側雨漏り修繕工事	550千円
南舎屋上東側雨漏り修繕工事	2,310千円
トレーニング機器（パワーマックス） など	492千円

### 3. 中部学院大学・中部学院大学短期大学部

#### 附属幼稚園の事業

##### 1. 教育方針

- 1) 新教育要領を踏まえ、建学の精神であるキリスト教を深く理解し、神と人とを愛する豊かな心を育てる。
- 2) 体験やふれあいを基にした自然体験活動や造形・音楽表現活動に力を入れ、園児一人ひとりの個性や感性の伸長に努める。
- 3) 教職員研修を通して教師の資質を高め、園児一人ひとりの安全と保育に責任を持って努める。また、保護者や地域社会の人々から信頼を得られるような子育て相談を充実させ開かれた幼稚園を目指し、情熱と知恵をもって保育に当たる。

##### 2. 教育目標 『心豊かな たくましい子の育成』

##### 3. 園児の募集及び確保

###### 1) 特色ある保育の推進

- ・教材・教具の整備 ・図工、体育、英語教育の充実 ・教職員研修の充実
- ・岐阜県教育研究協議会で実践研究発表

###### 2) 開かれた園づくりの充実

- ・親子わくわく教室の充実 ・にこにこプラザ事業の充実 ・小学校との連携強化
- ・福祉施設への訪問 ・子育て相談ふれあいサロンの実施
- ・夏季休業日の希望有料保育の実施
- ・休園中の家庭での過ごし方の支援 ・Instagramでの情報発信

###### 3) 保育環境の整備充実

- ・2階廊下鉄部塗装工事 ・既存PCメモリ増設
- ・遊戯室前雨もれ修繕工事 ・屋外消化水槽給水及び砂場水栓柱配管工事

###### 4) 広報活動の充実

- ・ホームページの充実 ・月刊雑誌での広報 ・園児募集資料の配布
- ・入園パンフレットの作成 ・入園記念品プレゼント

##### 4. 安心・安全の推進

###### 1) 通園バスの安全運転管理

- ・安全に備えた指導・管理の徹底 ・車検・点検等の徹底
- ・安全運転管理部会研修

###### 2) 食の安全と充実

- ・安全な食材、食料品の確保
- ・個別のアレルギー対応
- ・食器・調理用具の充実
- ・食育の充実
- ・害虫駆除及び衛生管理の充実
- ・給食室倉庫天井換気扇取替

### 3) 園生活の安全確保と事故防止

- ・遊具（三角助木）丸太交換
- ・遊具（木製吊り橋）修繕

## 4. 施設設備及び機器備品等の予算措置

・環境の整備（2階廊下鉄部塗装工事）	1, 540千円
・環境の整備（既存PCメモリ増設）	96千円
・環境の整備（遊戯室前雨もれ修繕工事）	71千円
・環境の整備 （屋外消化水槽給水及び砂場水栓柱配管工事）	714千円
・広報活動（入園パンフレットの印刷）	308千円
・広報活動（入園記念品のプレゼント）	420千円
・食の安全と充実（給食室倉庫天井換気扇取替）	59千円
・安全確保と事故防止（遊具・三角助木の丸太交換）	141千円
・安全確保と事故防止（遊具・木製吊り橋の修繕）	74千円

## 4. 中部学院大学・中部学院大学短期大学部

### 附属桐が丘幼稚園の事業

#### 1. 教育方針

- 1) キリスト教精神による宗教的情操を養い、「人を愛するやさしさ」「自分で考えるかしこさ」「創りだすたくましさ」を育てることを目指す。
- 2) 豊かな自然や広い園庭を活用して、豊かな感性とたくましい体の育成に努める。
- 3) 楽しくのびのび生活する中で、きまりの大切さや生活に必要なマナーの定着を図る。
- 4) 一人一人に寄り添い、誠意と愛情をもって保育の実践に努める。

#### 2. 教育目標 「なかまとともに 豊かな心とたくましい体をはぐくむ子」

- ◇元気に遊ぶ子（自立）
- ◇仲良く助け合う子（共生）
- ◇見つけ創り出す子（創造性）

#### 3. 重点施策：中期計画面具現に向けての人的・物的環境の整備

- 1) 特色ある幼稚園づくり（大好き活動）
  - ・自然遊び大好き・・・・・・・・・・感性を育む表現活動
  - ・外遊び大好き・・・・・・・・・・体づくり（体力測定）・友だちづくり
  - ・リズム遊び（歌声）大好き・・豊かな心を育む音楽活動
  - ・40周年を祝う心を育む文化・・園行事と関連
- 2) 社会の変化に対応する教育
  - ・新幼稚園教育要領の趣旨（10の力）を踏まえた環境構成の工夫
  - ・5領域における「英語」「福祉」「絵本」の位置づけ
  - ・ICT支援システムの活用研究（校務のスリム化・保護者連携）
- 3) 安全・安心の推進
  - ・緊急メールシステムとホームページの活用
  - ・遊具や砂場等の保守点検の継続及び耐震補強（ロッカー等）の点検・修理
- 4) 保護者のニーズに応える保育
  - ・アンケートによる保護者ニーズの把握と子育て相談の充実
  - ・親子行事やPTA活動の見直し（スクラップ&ビルド）
- 5) 地域における子育て支援センター機能の充実
  - ・0～1歳児対象の「びよママ事業」の拡充
  - ・子育てファミリープラザ「コミママ事業」の見直し
- 6) 広報活動（未就園児対象事業・チラシの配布等）の充実

#### 4. 施設設備及び機器備品

・人工芝張り替え工事	4, 275千円
・小プールのリニューアル・周辺の改修工事	3, 317千円
・南通路屋根材張替工事	1, 243千円
・空調機更新工事3カ所（保育室）	1, 145千円
・園庭テント貼替工事	641千円
・どんぐりひろば囲いフェンス工事	609千円